



桂宮治



春風亭一之輔



三遊亭わん丈

石橋文化センター
開園70周年記念プレ事業

久留米特選

落語三人会

春風亭一之輔・桂宮治・三遊亭わん丈

2025 **7/22** 火 開演18:30
(開場18:00)
石橋文化ホール

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015

【入場料】全席指定 一般 **5,500**円 (当日500円増)

※「みゆ〜ず」友の会会員は1割引(4,950円)にて販売(同伴者1名まで)

入場券発売日

- みゆ〜ず会員先行発売 2025年4月12日(土)
- 一般発売 2025年4月19日(土)

入場券販売方法

石橋文化センター／TEL 0942-33-2271
 石橋文化センター情報サテライト／TEL 0942-36-3080
 チケットぴあ／<https://t.pia.jp> Pコード(533-836)
 ローソンチケット／<https://l-tike.com> Lコード(82753)

お問い合わせ 石橋文化センター 〒839-0862 久留米市野中町1015番地 Tel 0942-33-2271 Fax 0942-39-7837 (祝日以外の月曜休館) <https://www.ishibashi-bunka.jp>

【主催】公益財団法人久留米文化振興会 【後援】久留米市 【協力】株式会社キョードー西日本

■スペシャルパートナー:株式会社ブリヂストン

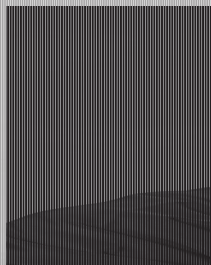
■オフィシャルパートナー:学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー



楽しみと幸福の時間。
石橋文化センター

久留米特選 落語三人会

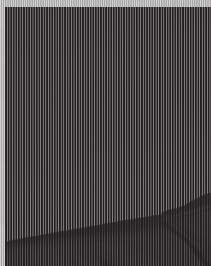
出演者プロフィール



春風亭 一之輔
(しゅんぷうてい いちのすけ)

1978(昭和53)年 千葉県生まれ。
2001(平成13)年 春風亭一朝に入門、朝左久を名乗る。
2004(平成16)年 ニツ目昇進。春風亭一之輔と改名。
2008(平成20)年 東西若手落語家コンペティション優勝。
2010(平成22)年 NHK新人演芸大賞を受賞。
2012(平成24)年 真打昇進。
2013(平成25)年 国立演芸場花形演芸大賞 大賞受賞。
2015(平成27)年 浅草芸能大賞 新人賞受賞。

高校在学中より自ら「落語研究会」を起こし、部長として活動。日本大学芸術学部時代にも「落ち研」に所属するほど、早くから落語家を志してきた。若手らしからぬ秀逸な話芸によって次第に人気が高まり、2012年3月に真打昇進を果たす。「21人抜きの大抜擢」と報じられて大きな話題を呼び、都内の定席は連日超満員となる盛況ぶりとなった。当時の落語協会の柳家小三治会長も「久しぶりに見た本物」と太鼓判を押す。新真打とは思えない安定感と風格を漂わせ、今後の活躍に高い期待が寄せられている。得意ネタは「不動坊」「茶の湯」「鈴ヶ森」「初天神」など。古典のネタに独自の色づけをほどこし会場の笑いを誘う。自他ともに認める「十八番」のある噺家を目指し、真打昇進後も精進を重ねる。全国のFM局でオンエアされている『SUNDAY FLICKERS』ではメインパーソナリティーを務めており、ざっくばらんなトークで幅広い人気を得ている。

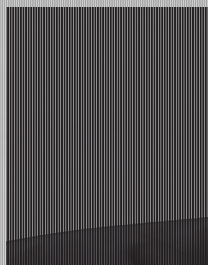


三遊亭 わん丈
(さんゆうてい わんじょう)

1982年(昭和57年) 滋賀県生まれ。
2011年(平成23年) 三遊亭円丈に入門。(没後は三遊亭天どんに移門)
2012年(平成24年) 前座となる。前座名「わん丈」。
2016年(平成28年) ニツ目昇進。
2023年(令和5年) 第1回 公推協杯 全国若手落語家選手権 優勝。
令和4年度 彩の国落語大賞。
2024年(令和6年) 3月 真打昇進。

福岡在住中わけあって訪れた東京の寄席で落語を聞いたことを機に落語家を志し、28歳で入門。滋賀県出身者として、初の江戸落語家である。古典と自作の両方で多くの賞を獲得するなど、ニツ目昇進直後から頭角を現す。2023年、全国の若手200人の頂点を決める第1回公推協杯全国若手落語家選手権優勝、そしてニツ目としては異例の彩の国落語大賞を受賞した。

埋もれてしまった古典や上方落語の再編、「牡丹灯籠」通し公演も好評を得ている。老若男女各々に合わせた魅せ方に定評があり、落語ファンのみならず、落語に馴染みのない方も満足できる高座を追求し続けている。真打昇進にあたっては、16人抜きの大抜擢となり、43日間の披露興行は連日満員御礼。全日程ネタを変え、三題噺まで披露するなど大きな話題を呼んだ。



桂 宮治
(かつら みやじ)

1976(昭和51)年 東京都生まれ。
2008(平成20)年 桂仲治門下として二月下旬より浅草演芸ホールにて初高座。
2012(平成24)年 下席よりニツ目昇進。
2012(平成24)年 NHK新人演芸大賞 落語部門 大賞。
2013(平成25)年 につかん飛切落語会最優秀賞受賞。
2014(平成26)年 2年連続、につかん飛切落語会最優秀賞受賞。
2020(令和2)年 彩の国落語大賞。
2021(令和3)年 2月、真打昇進。
2021(令和3)年 彩の国落語大賞。
2022(令和4)年 1月から笑点メンバーに加入。

元化粧品の実演販売で売り上げ全国一という記録を打ち立てるも、三代目桂仲治師匠との運命的な出会いを経て、2008年に入門し、浅草演芸ホールにて初高座「子ほめ」を披露。2012年にはニツ目に昇進し、同年にNHK新人演芸大賞落語部門大賞を受賞するなど、早くから頭角を現す。表現豊かな話芸と旺盛なサービス精神で「令和の爆笑王」として活躍の場を広げるなか、2021年2月、所属する落語芸術協会で、春風亭昇太会長以来、29年ぶりとなる5人抜きの真打昇進を果たした。都内での披露興行は連日満席を記録するほどの人気ぶりとなった。

— 石橋文化センター情報 —

久留米市美術館展覧会

- ◆響きあう絵画 宮城県美術館コレクション ～5月11日(日)
- ◆異端の奇才 ピアズリー 展 5月24日(土)～8月31日(日)

※本公演チケットで、久留米市美術館展覧会「異端の奇才ピアズリー展」をご覧いただけます。

国内の見ごろ

春のバラ 5月上旬～5月下旬
スイレン 5月～秋頃まで
ハクショウブ 6月上旬

花の見ごろに合わせてイベントやガーデンコンサートを開催します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

